

組立マンホールのI類規格化について

1. 概要

このたび、日本下水道協会は平成17年6月1日からI類規格『J S W A S A - 11 下水道鉄筋コンクリート製組立マンホール』について、各団体代表工場による形式検査を始め、9月1日からは各社の工場審査を始めた。ここで、全ての組立マンホールがI類規格に移行されるわけではなく、一部の種類がII類規格として残るため、下記にその違いを示す。

ここで、下表の『Cタイプ』とは『ボルト接合』の継手構造を表す。

種 別	I 類	II 類
規 格 番 号	J S W A S A - 11	—
名 称	下水道鉄筋コンクリート製組立マンホール	下水道用組立マンホール側塊
日 本 下 水 道 協 会 認 定 範 囲	形 状 円 形 構 造 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 認 定 範 囲 0号・1号・2号・3号・4号・5号	円形・角形・楕円・馬蹄形 鉄筋コンクリート・無筋コンクリート 各工業会規格の規定範囲
全 国 コ ネ ク ト ホ ー ル 工 業 会 認 定 取 得 範 囲	名 称	コ ネ ク ト ホ ー ル
	コネクトホールI種 Cタイプ (IC1)	
	コネクトホールI種 Cタイプ (IC2)	
	コネクトホールII種 Cタイプ (IIC1)	
形 状 円 形	楕 円 ・ 角 形	
構 造 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト	
認 定 範 囲 0号・1号・2号・3号・4号	楕円・角形特1号～特6号	

2. 呼び方の比較

同じ部材でも、I類規格の記号と全国コネクトホール工業会規格の記号は異なるので、対比例を下記に示す。ここで、IC1・IC2・IIC1・IIC2は、I類規格での登録番号を表す。

部 材	呼び方	I 類規格の記号	全国コネクトホール工業会規格固有記号			
			IC1 I種標準 (I-C)	IC2 I種特厚 (I-CP)	IIC1 II種標準 (IIC-C)	IIC2 II種特厚 (IIC-CP)
調整リング	共通	CMR60	A-R			
斜 壁	0号	CM0T	A0-N			
	1号	CM1T	A1-N			
	2号	CM2T	A2-N			
頂 版	0号	CM0SB	A0-T			
	1号	CM1SB	A1-T			
	2号	CM2SB	A2-T			
床 版	2号	CM2SBM	A2-C			
直 壁	0号	CM0S	A0-S	*	*	*
	1号	CM1S	A1-S	PA1-S	A1-S	PA1-S
	2号	CM2S	A2-S	PA2-S	A2-S	PA2-S
管取付け壁	0号	CM0B	A0-H	*	*	*
	1号	CM1B	A1-H	PA1-H	A1-H	PA1-H
	2号	CM2B	A2-H	PA2-H	A2-H	PA2-H
底 版	0号	CM0P	A0-B	*	*	*
	1号	CM1P	A1-B	PA1-B	A1-B	PA1-B
	2号	CM2P	A2-B	PA2-B	A2-B	PA2-B

3. 性能の比較

コネクトホールは、4種類に分かれたので、使用場所・接合部の許容水圧・側方曲げ強さの比較を下記に示す。

コネクトホールの種別		使用場所	接合部の許容水圧	側方曲げ強さ
I種標準	I-C	5m以下	0.05Mpa	II種はI種の約2倍
I種特厚	I-CP	5m以下で矢板の引き抜きを考慮する		
II種標準	II-C	10m以下	0.10Mpa	
II種特厚	II-CP	10m以下で矢板の引き抜きを考慮する		